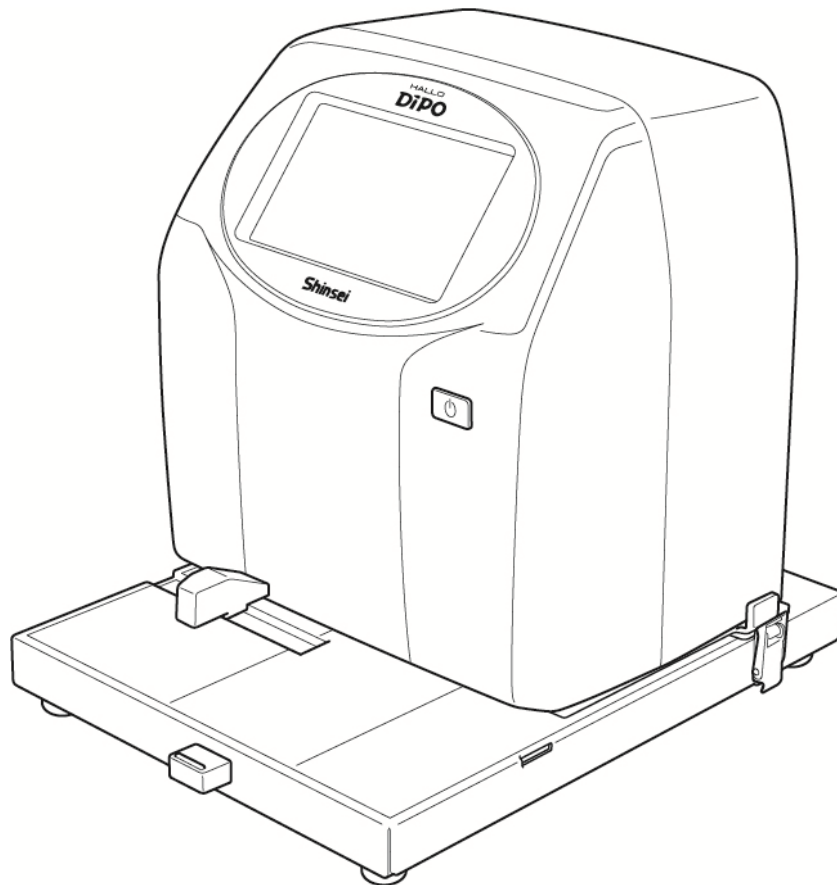




INKJET PRINTER

操作編 取扱説明書
(DiPO J165M)



株式会社
新盛インダストリーズ

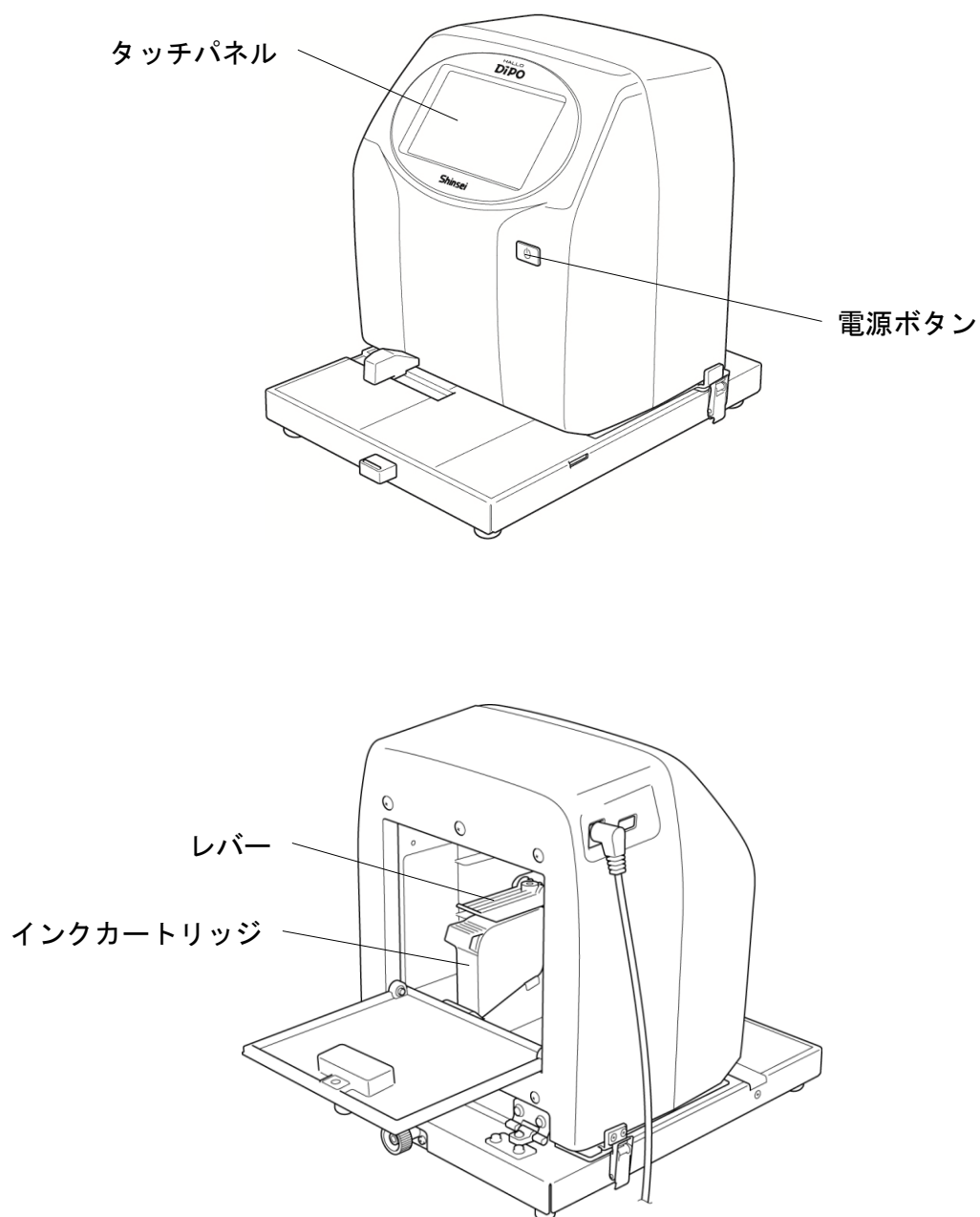
目 次

インクジェットプリンターの外観	- 4 -
タッチパネルのアイコン表示	- 5 -
電源のオン・オフ	- 6 -
1 電源のオン	- 6 -
2 電源のオフ	- 8 -
(1) インクカートリッジが装着されている場合	- 8 -
(2) インクカートリッジが装着されていない場合	- 8 -
第 1 章 ツール	- 9 -
1 プリンター情報	- 10 -
2 印刷データの読み込み・保存	- 11 -
(1) USB メモリへ保存	- 11 -
(2) USB メモリから読み込み	- 13 -
3 ヘッドクリーニング	- 14 -
4 センサーチェック	- 16 -
5 テスト印刷	- 17 -
6 プログラム更新	- 18 -
(1) USB メモリから	- 18 -
7 バックアップ	- 19 -
8 復元	- 21 -
(1) 本体から復元	- 21 -
(2) USB メモリから復元	- 22 -
9 通信	- 23 -
10 印刷履歴を USB メモリに移行	- 24 -
11 印刷左右位置調整	- 25 -
12 タッチ位置確認ツール	- 26 -
13 タッチ位置校正	- 27 -
14 カートリッジ情報	- 29 -
15 本体情報のダンプファイル作成	- 30 -
16 カートリッジ自己診断	- 31 -
第 2 章 設定	- 32 -
1 基本設定	- 32 -
(1) 和暦元年	- 32 -
(2) 和暦年号	- 33 -
(3) 印刷回数の表示	- 34 -
(4) レイアウトの印刷可能枚数表示	- 34 -
(5) 印刷イメージ表示方向設定	- 35 -
2 印刷設定	- 36 -
(1) 印刷モード設定	- 36 -
(2) 印刷後乾かす時間設定	- 37 -
(3) 印刷停止間隔の警告設定	- 38 -
(4) 自動/手動印刷設定	- 39 -
(5) パルスウォーミング	- 40 -
3 デバイス設定	- 41 -
(1) 内蔵時計	- 41 -
(2) LCD 明るさ調整	- 42 -
(3) 音設定	- 43 -
i) 操作音	- 43 -

ii) エラー音	- 43 -
(4) 自動電源 OFF	- 44 -
4 設定値処理	- 45 -
(1) ファイルに保存	- 45 -
(2) ファイルから復元	- 47 -
5 その他	- 48 -
(1) 自動バックアップ	- 49 -
(2) 全データ削除	- 50 -
(3) 出荷値に戻す	- 51 -
(4) データ領域をフォーマット	- 52 -
第3章 印刷内容	- 53 -
1 印刷データの読み込み	- 53 -
2 手動印刷/自動印刷	- 55 -
(1) 手動印刷	- 55 -
(2) 自動印刷	- 56 -
3 印刷データの一時変更	- 57 -
第4章 モード：標準 A	- 59 -
第5章 カートリッジ交換	- 60 -
第6章 回数	- 61 -

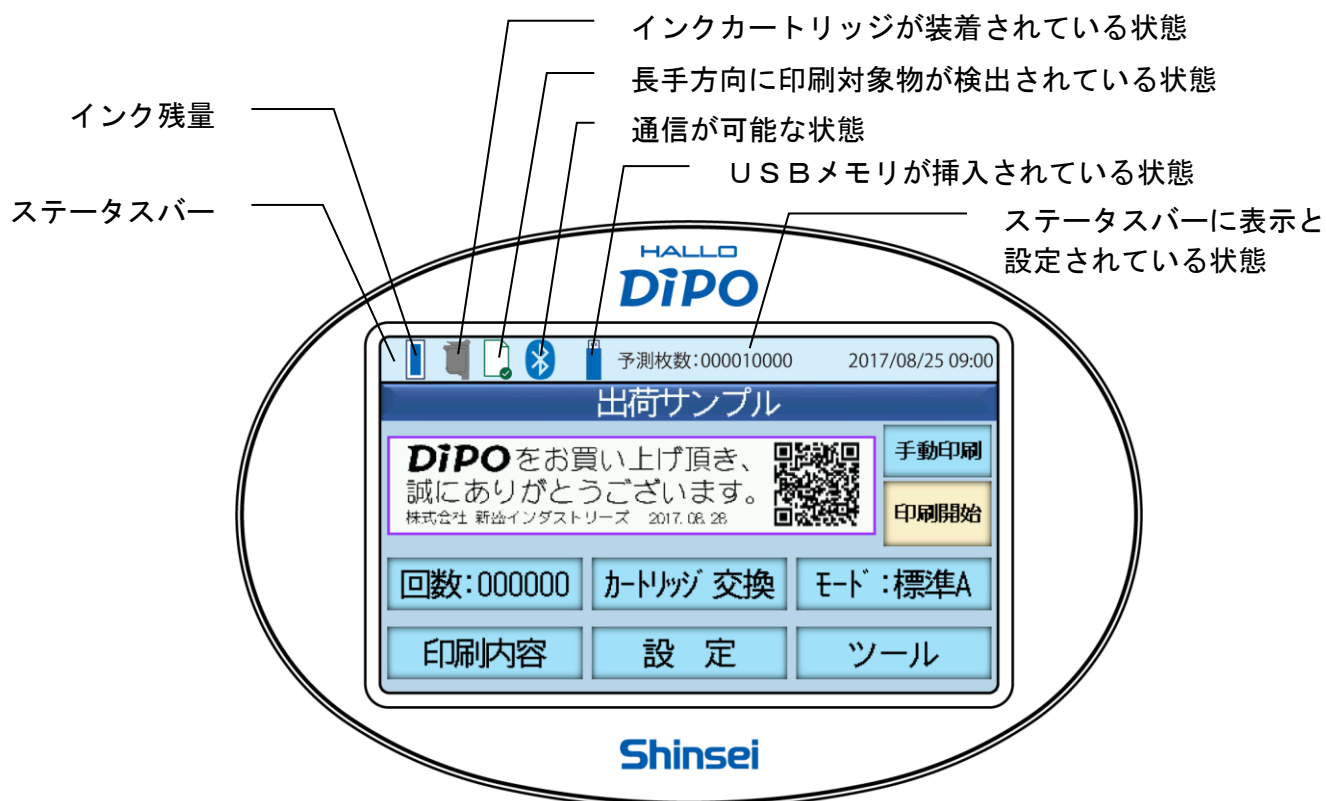
インクジェットプリンターの外観

■本体の電源ボタンを約2秒長押しすると、タッチパネルにホーム画面が表示されます。



【インクカートリッジが交換位置で正しく装着された状態】

タッチパネルのアイコン表示

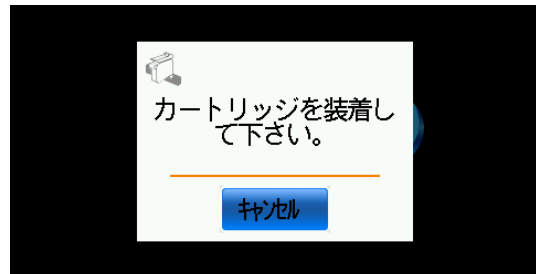


電源のオン・オフ

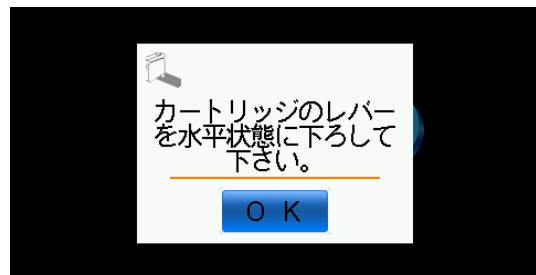
1 電源のオン

- ①電源ボタンを約2秒長押しすると、タッチパネルに右図のような画面が表示されますので、インクカートリッジを装着してください。

※すでにインクカートリッジが装着されていると、この画面と②の画面が表示されずに③の確認画面が表示されます。

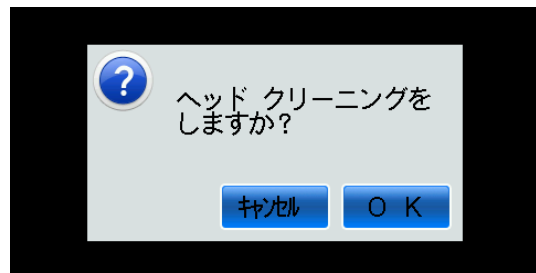


- ②インクカートリッジのレバーを水平に下ろしてから **OK** にタッチしてください。



- ③インクヘッドをクリーニングするかの確認画面が表示されます。

クリーニングする場合は、**OK** にタッチします。
※[第1章 ツール]の[3 ヘッドクリーニング]でも同様な操作を行うことができます。



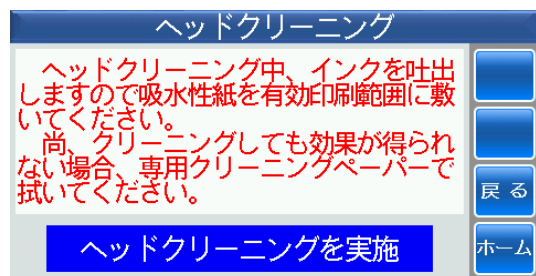
キャンセル にタッチすると、ホーム画面に戻ります。

- ④ **OK** にタッチすると、ヘッドクリーニング画面が表示されます。

注意書きをよく読んでください。

- ヘッドクリーニングする前に印刷範囲に吸水性紙を敷いてください。
- ヘッドクリーニングをしてもインクがすすんでいる場合は、専用のクリーニングペーパーでヘッドを拭き取ってください。

準備ができましたら **ヘッドクリーニングを実施** にタッチしてください。



⑤動作回数を数字にタッチして入力します。

1 回の動作回数で縦線を 1 本印刷します。
最低で 10 回から設定できます。設定すると 1mm
間隔で縦線を連続で 10 本印刷します。

最大印刷幅内で 65 回まで設定できます。設定する
と 1mm 間隔で縦線を連続で 65 本印刷します。

入力したら **決定** にタッチします。

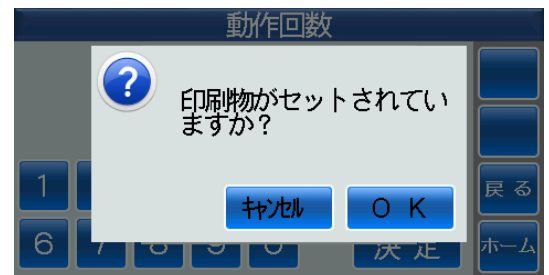
入力データを削除する場合は、**削除** にタッチし
ます。



⑥印刷範囲に印刷物を必ずセットしてください。

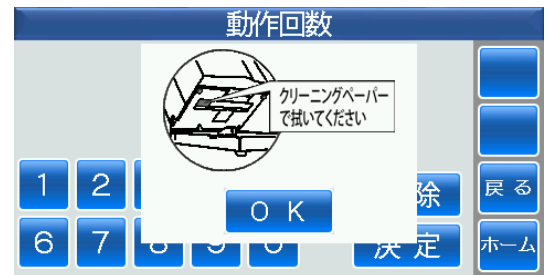
それから、**OK** にタッチすると、クリーニング
を開始します。

キャンセル にタッチすると、項目④に戻ります。



⑦クリーニングが終わったら、ヘッドをクリーン
グペーパーで拭いてください。

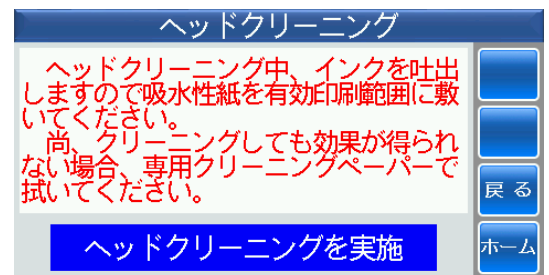
拭き終わったら **OK** にタッチしてください。



⑧もう一度、ヘッドクリーニング画面に戻ります。

再度、クリーニングを行いたい場合は、
ヘッドクリーニングを実施 にタッチして同様な操作
を繰り返してください。

終了する場合は、**ホーム** にタッチしてください。



2 電源のオフ

(1) インクカートリッジが装着されている場合

- ①電源ボタンを約2秒長押しすると、電源がオフになります

電源を切ります。

(2) インクカートリッジが装着されていない場合

- ①電源ボタンを約2秒長押しすると、エラーメッセージが表示されます。

インクカートリッジのレバーを水平に下ろしてから **OK** にタッチすると、電源がオフになります。

※ **OK** にタッチしないでそのままにしていると、20秒後よりアラームを鳴らして電源がオフになります。

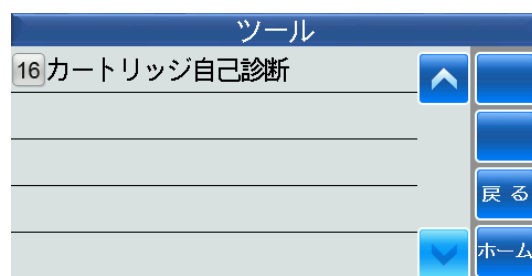
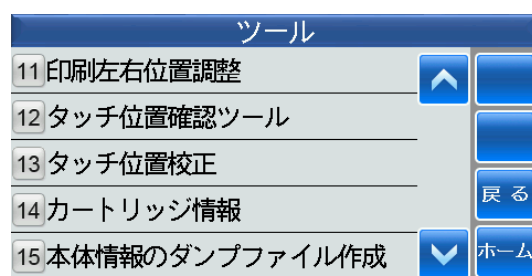
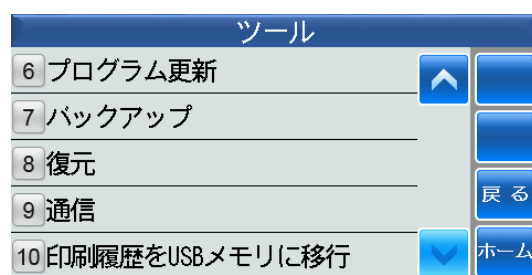
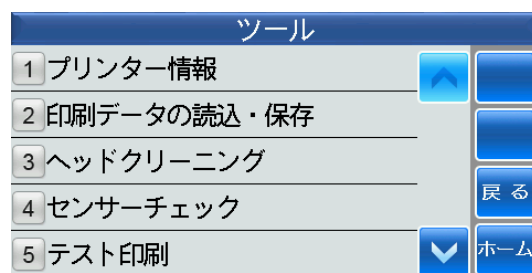
57秒後電源を切断

カートリッジのレバーを下ろしてから、「OK」をタッチして下さい。

OK

第1章 ツール

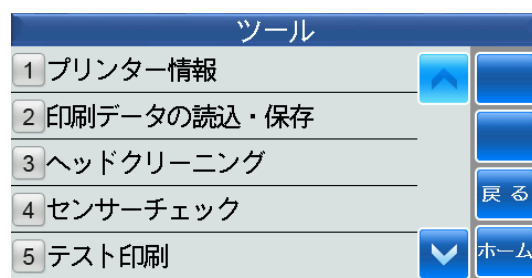
■ホーム画面⇒ツールにタッチします。



1 プリンター情報

■プリンターの各種情報が表示されます。

①プリンター情報にタッチします。



②プリンター情報を表示します。

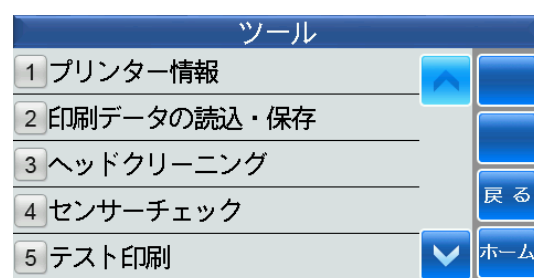
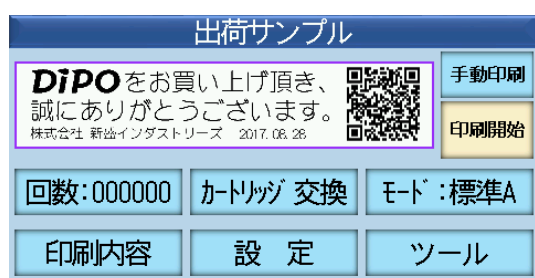


③すべての画面を確認したら「ホーム」にタッチします。

次画面があります

2 印刷データの読み込み・保存

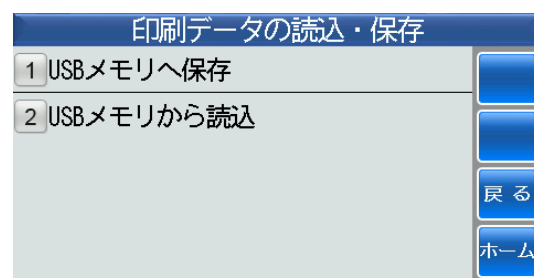
■ホーム画面⇒ツール⇒印刷データの読込・保存にタッチします。



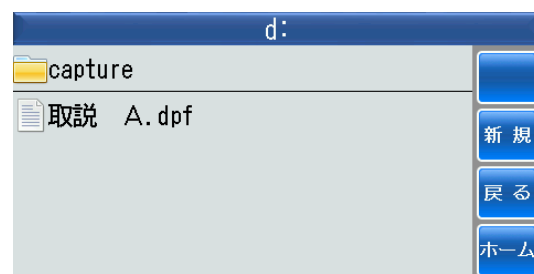
(1) USB メモリへ保存

- プリンターの印刷データを USB メモリに保存します。
- USB メモリをプリンターに挿入してください。

①USB メモリへ保存にタッチします。



②新しいファイル名で保存する場合は、**新規**にタッチします。

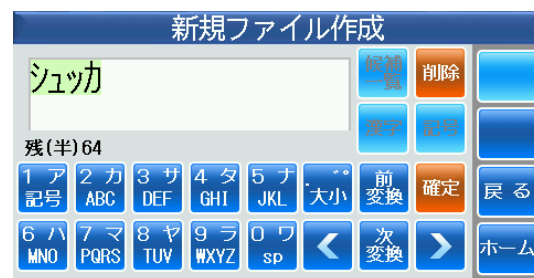


③数字にタッチして漢字モードに変換します。

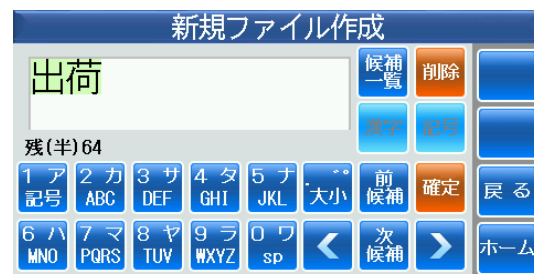


漢字モードに変換します。

④たとえば、「シュッカ」と入力して

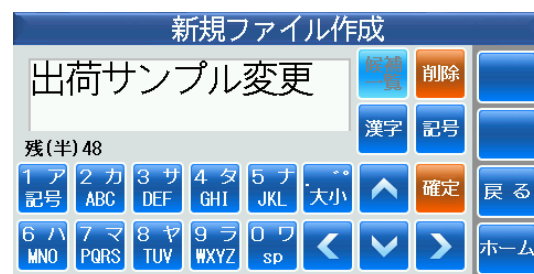


⑤ **前候補** または **次候補** にタッチして「出荷」に変換して、**確定** にタッチします。

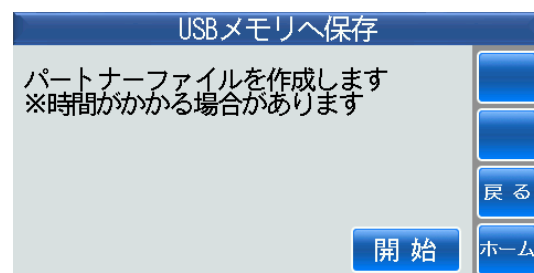


⑥同様にして、「サンプル変更」と入力します。

もう一度、**確定** にタッチします。

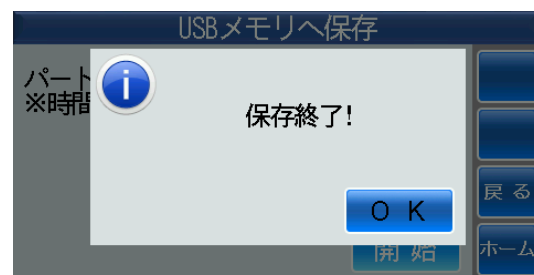


⑦ **開始** にタッチします。



⑧正常に保存されました。

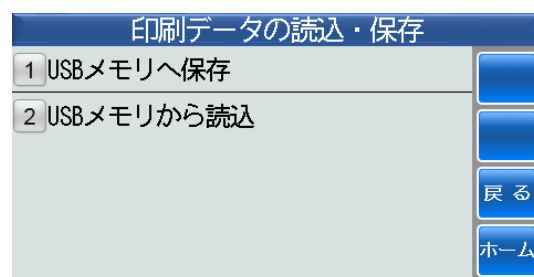
OK にタッチすると、①の印刷データの読込・保存画面に戻ります。



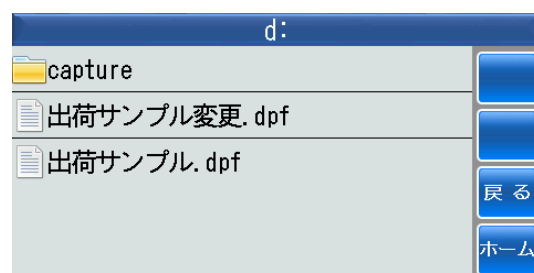
(2) USB メモリから読み込み

- 印刷データが保存されたUSBメモリをプリンターに読み込みます。
- 印刷データが保存されたUSBメモリを本体に挿入してください。

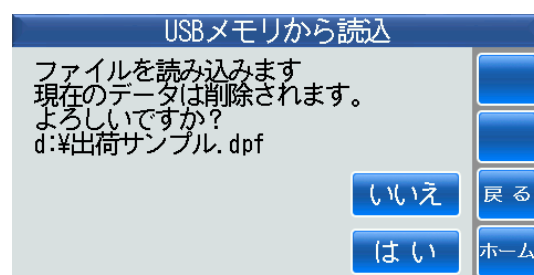
①USBメモリから読込にタッチします。



②読み込みたいファイルにタッチします。

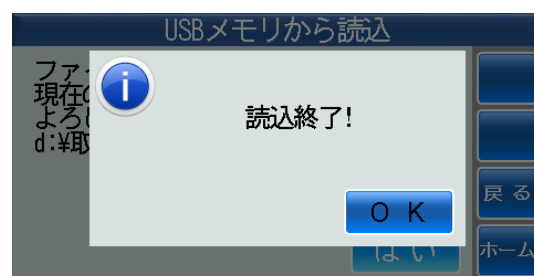


③読み込む場合は、**はい** にタッチします。



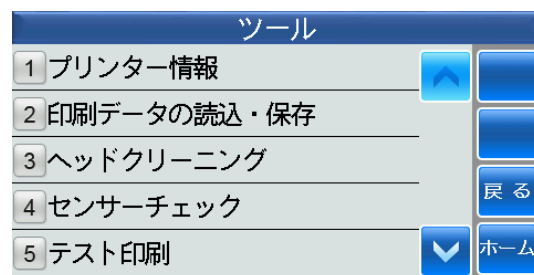
④正常に読み込みされました。

OK にタッチすると、①の印刷データの読込・保存画面に戻ります。



3 ヘッドクリーニング

- ホーム画面⇒ツール⇒ヘッドクリーニングにタッチします。
- インクヘッドをクリーニングします。

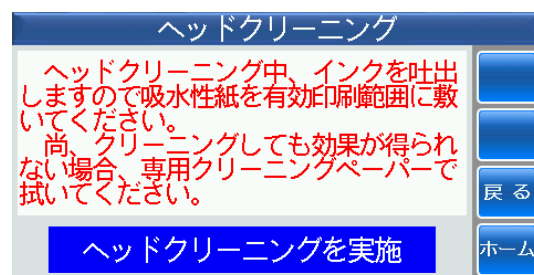


- ①ヘッドクリーニングにタッチすると、ヘッドクリーニング画面が表示されます。

注意書きをよく読んでください。

- ヘッドクリーニングする前に印刷範囲に吸水性紙を敷いてください。
- ②ヘッドクリーニングをしてもインクがかすんでいる場合は、専用のクリーニングペーパーでヘッドを拭き取ってください。

準備ができましたら **ヘッドクリーニングを実施** にタッチします。



- ②動作回数を数字にタッチして入力します。

1回の動作回数で縦線を1本印刷します。最低で10回から設定できます。設定すると1mm間隔で縦線を連続で10本印刷します。

最大印刷幅内で65回まで設定できます。設定すると1mm間隔で縦線を連続で65本印刷します。

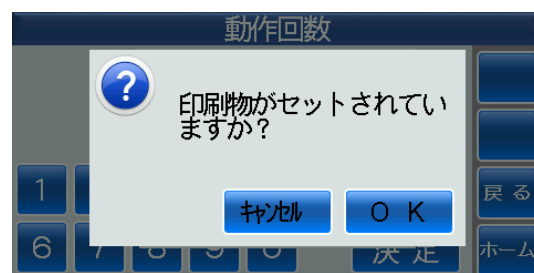
入力したら **決定** にタッチします。

入力データを削除する場合は、**削除** にタッチします。



- ③ **OK** にタッチすると、クリーニングを開始します。

キャンセル にタッチすると、①のヘッドクリーニング画面に戻ります。



- ④クリーニングが終わったらヘッドをクリーニングペーパーで拭いてください。

拭き終わったら **OK** にタッチしてください。

項目①のヘッドクリーニング画面に戻ります。

再度、クリーニングを行いたい場合は、**ヘッドクリーニングを実施** にタッチして同様な操作を繰り返してください。

終了する場合は、**ホーム** にタッチしてください。



4 センサーチェック

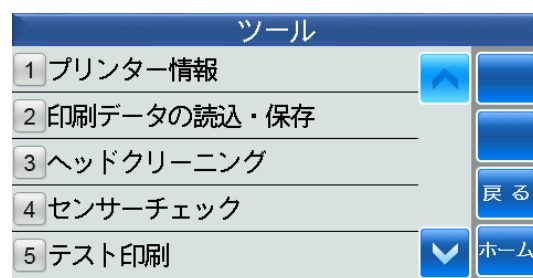
- 3種類のセンサー（印刷対象物検出センサー、ホーム位置検出センサー、リミット位置検出センサー）の動作をチェックします。

※印刷対象物検出センサー：長手方向の位置決め装置センサーの動作状態をチェックします。

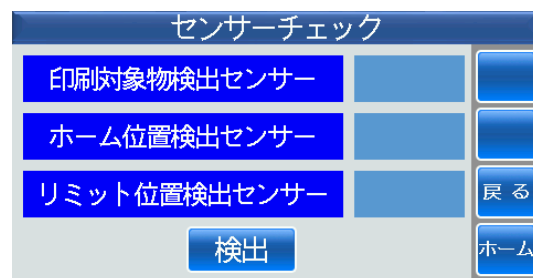
※ホーム位置検出センサー：インクカートリッジのホーム位置センサーの動作状態をチェックします。

※リミット位置検出センサー：インクカートリッジのストロークエンドセンサーの動作状態をチェックします。

- ホーム画面⇒ツール⇒センサーチェックにタッチします。

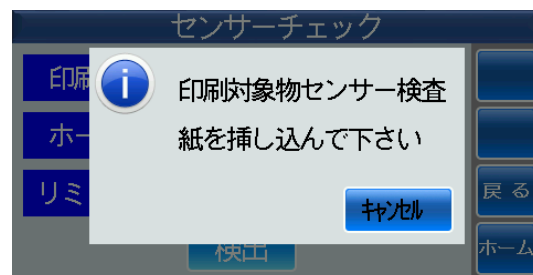


- ① **検出** にタッチします。

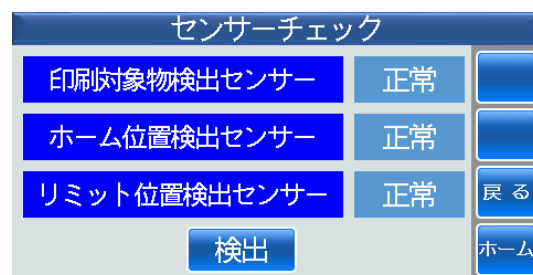


- ②印刷対象物が長手方向の位置決め装置に突き当たるように位置決めされていないと、このようなエラーメッセージが表示されます。

印刷対象物を長手方向の位置決め装置に突き当たるように位置決めしてください。



- ③印刷対象物が長手方向に位置決めされると **正常** と表示されます。



5 テスト印刷

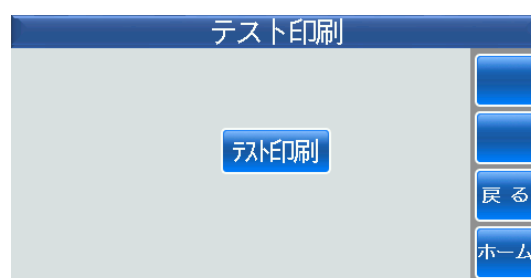
■ホーム画面⇒ツール⇒テスト印刷にタッチします。



■印刷範囲に印刷物をセットしてください。

① **テスト印刷** にタッチします。

テスト印刷を行います。

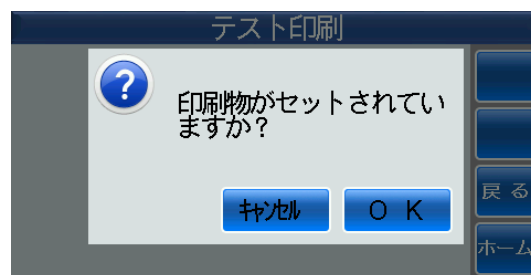


②テスト印刷前に、印刷物を印刷範囲に必ずセットしてください。

それから、**OK** にタッチすると、テスト印刷を開始します。

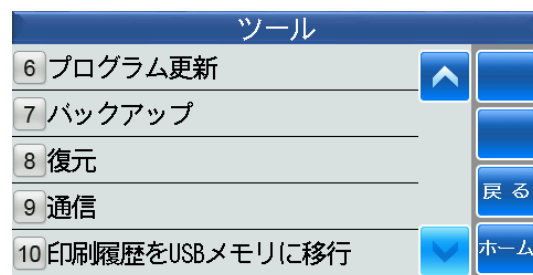
キャンセル にタッチすると、項目①の画面に戻ります。

項目①の画面で終了したい場合は、**ホーム** にタッチしてください。



6 プログラム更新

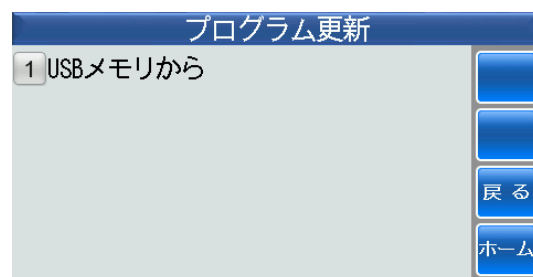
- プログラムの更新をします。
- ホーム画面⇒ツール⇒次画面のプログラム更新にタッチします。



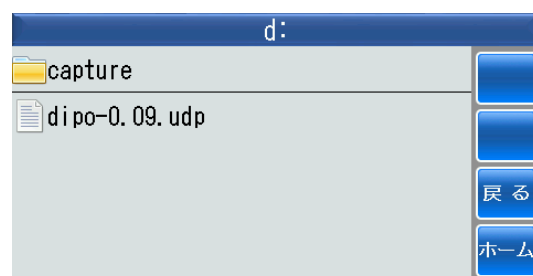
(1) USB メモリから

- USB メモリから更新します。
- 更新プログラムが保存された USB メモリを挿入します。

①USB メモリからにタッチします。

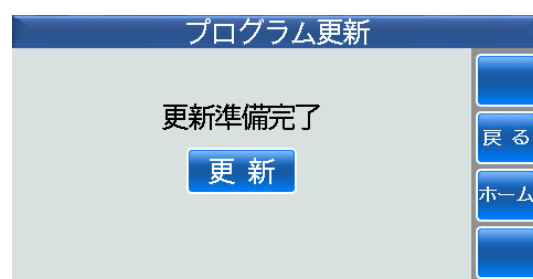


②更新ファイルにタッチします。



③ **更新** にタッチします。

自動的に再起動します。



④正常に更新されると「更新成功しました」と表示されますので **OK** にタッチします。

ホーム画面が表示されます。

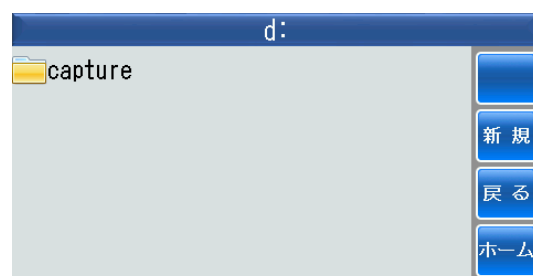
7 バックアップ

- データのバックアップをします。
- ホーム画面⇒ツール⇒次画面のバックアップにタッチします。



- USBメモリにバックアップしますので、USBメモリを挿入します。

- ①新規にタッチして、保存するファイル名を作成します。



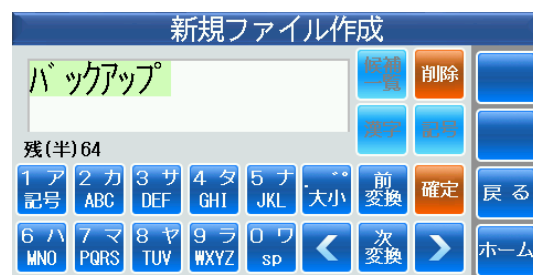
- ②数字にタッチして漢字モードにします。

漢字モード

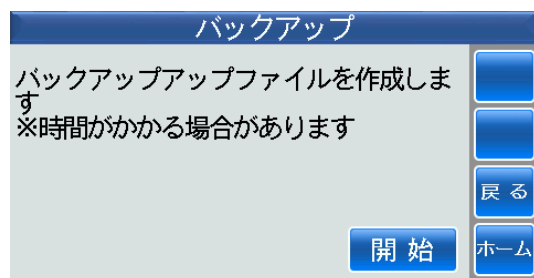


- ③バックアップするファイル名を入力します。
たとえば、バックアップと入力します。

確定 にタッチしてバックアップを確定させます。
もう一度 **確定** にタッチします。

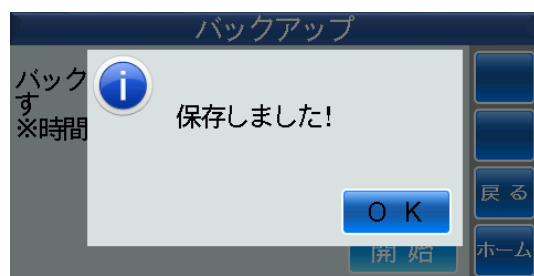


- ④ **開始** にタッチします。



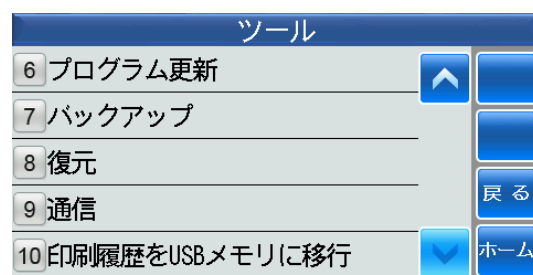
- ⑤ 正常にバックアップされましたので、**OK** にタッチします。

保存されて、①の画面に戻ります。



8 復元

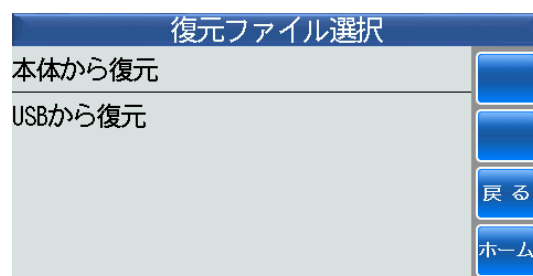
- データの復元をします。
- ホーム画面⇒ツール⇒次画面の復元にタッチします。



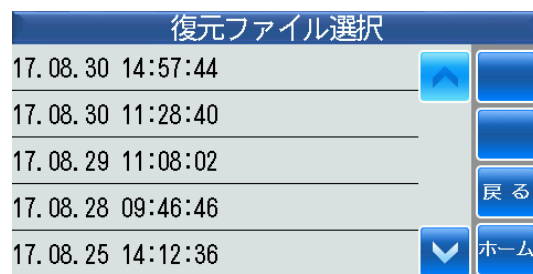
(1) 本体から復元

- 本体から復元します。

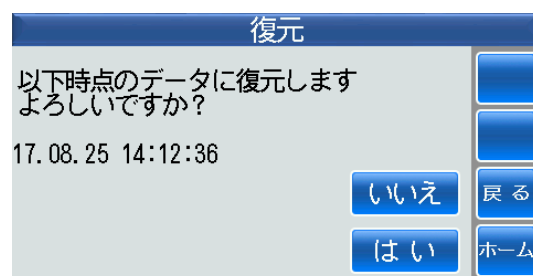
①本体から復元にタッチします。



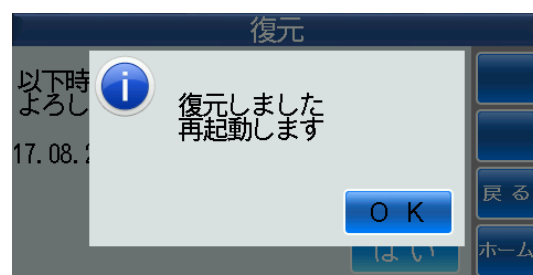
②復元したい日時のファイルにタッチします。



③復元する場合は、**はい** にタッチします。



④ **OK** にタッチします。

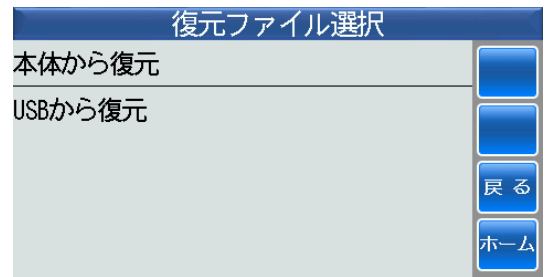


再起動してホーム画面が表示されます。

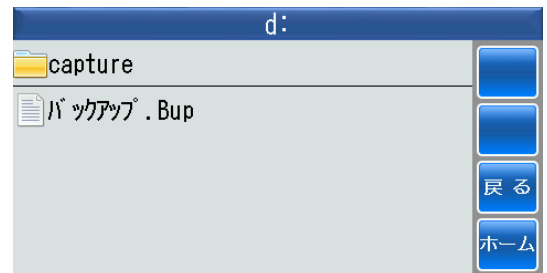
(2) USB メモリから復元

■USB メモリから復元します。

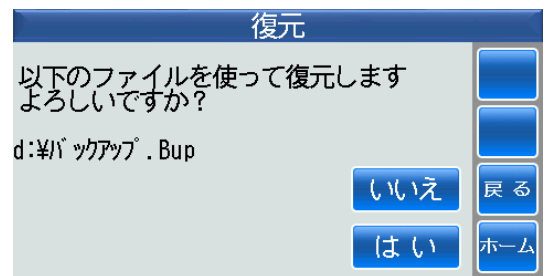
①USB から復元にタッチします。



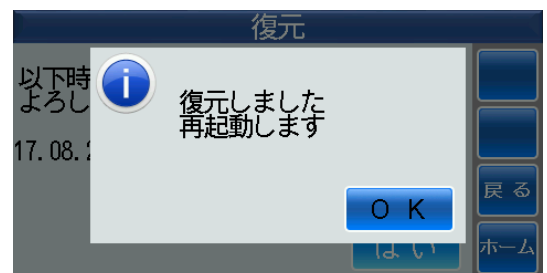
②バックアップファイルにタッチします。



③バックアップする場合は、**はい** にタッチします。



④ **OK** にタッチします。



再起動してホーム画面が表示されます。

9 通信

- 本体とパソコン上の DiPO Partner と Bluetooth 通信するためには、パソコン側でペアリングを行う必要があります。
ペアリング方法は、付属の DiPO Partner 取扱説明書の「第7章2 ホーム（6）通信」をご参照ください。
- ペアリングが完了しましたら本体と Bluetooth 通信を行います。
- ホーム画面のツール⇒ツールの次画面の通信にタッチします。



- ① 本体のアドレスを表示するバーコードとQRコードが表示されます。

文字列は、Bluetooth のMACアドレスを表示しています。

※この通信画面が表示されている時だけ、通信をすることができます。

- ② すると、この通信画面の上のステータスバーに通信可能アイコン  が表示されます。

一方、パソコン上の DiPO Partner のメインツールの各通信アイコンが有効になります。

これで、本体と DiPO Partner が通信できる状態になりました。

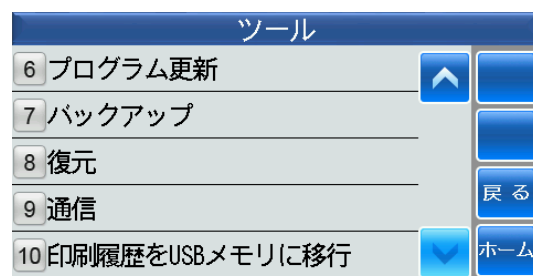


10 印刷履歴を USB メモリに移行

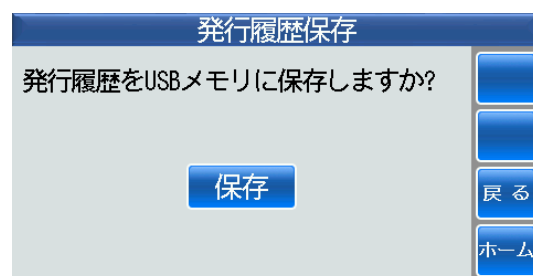
- 本体で印刷した印刷履歴を USB メモリに移行することができます。

最初に DiPO Partner で印刷履歴内容をフォーマット化する必要があります。フォーマット化する方法は、付属の DiPO Partner 取扱説明書の「第7章5 テーブル編集（4）履歴」をご参照ください。

- フォーマット化したファイルを USB メモリの挿入または Bluetooth 通信によって本体に読み込みします。それから印刷を行います。
- 印刷履歴を保存したい USB メモリを挿入します。



- ①印刷履歴を USB メモリに移行にタッチすると、発行履歴保存画面が表示されますので、**保存** にタッチします。

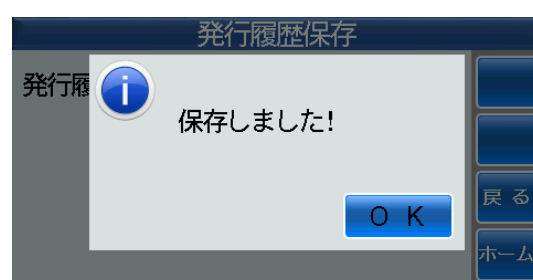


- ②正常に保存されました。

正常に保存されると、自動的に本体から印刷履歴が削除されます。

OK にタッチします。

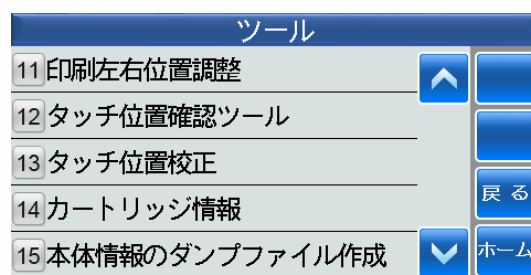
すると、ツール画面に戻ります。



- ③USB メモリをパソコンなどに挿入して、印刷履歴を見ることができます。

1 1 印刷左右位置調整

- 左右の印刷位置を調整したい時に使用します。
- ホーム画面⇒ツール⇒次画面の印刷左右位置調整にタッチします。



- ① 印刷左右位置調整にタッチすると、印刷左右位置調整画面が表示されます。

印刷左右位置を にタッチして調整します。
※調整範囲：-3～3mm

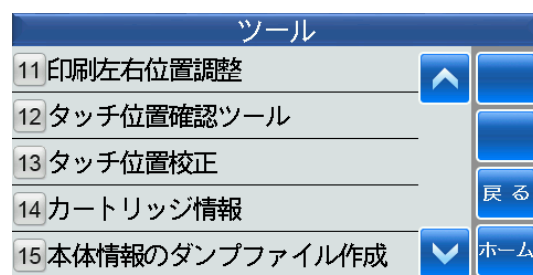
- ② たとえば、 にタッチして 3.0 を入力すると、右に 3mm 移動します。

決定 にタッチすると、保存されてツール画面に戻ります。

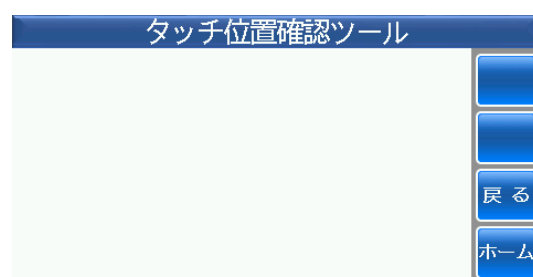


1.2 タッチ位置確認ツール

- タッチパネル上のタッチ位置が正しいかどうかの確認を行います。
- ホーム画面⇒ツール⇒次画面のタッチ位置確認ツールにタッチします。



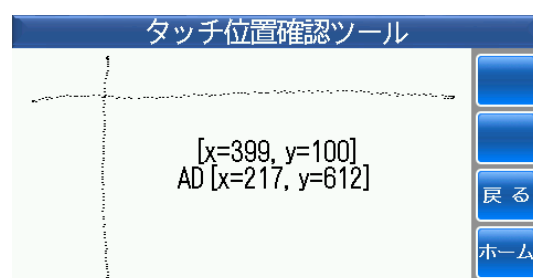
- ①タッチ位置確認ツールにタッチします。



- ②タッチペンでタッチした位置が黒く表示されれば正常です。

x、y：左上の基準点からの座標値

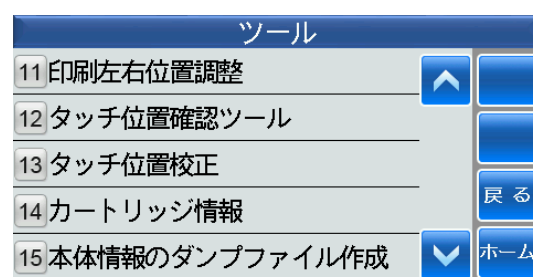
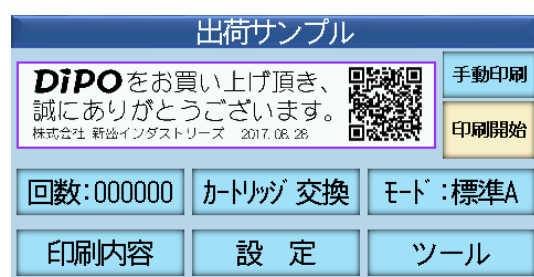
たとえば、クロスに連続してタッチして、タッチ位置に沿って滑らかな縦線・横線が表示されれば正常の目安になります。



確認後、**戻る**にタッチすると、ツール画面に戻ります。

1.3 タッチ位置校正

- タッチパネル上のタッチ位置にズレが生じた場合に、タッチ位置を校正します。
- ホーム画面⇒ツール⇒次画面のタッチ位置校正にタッチします。



- ①タッチ位置校正にタッチすると、タッチパネルの校正画面が表示されます。

タッチペンで5カ所の $\oplus$ マークの中心に正確にタッチします。



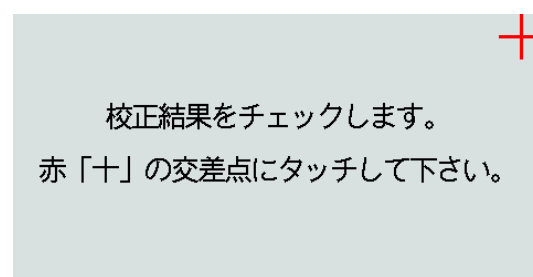
- ②すると、5カ所のマークの色が $\oplus$ に変わります。

決定にタッチします。



- ③校正結果画面が表示されますので、右上の $\oplus$ マークの中心に正確にタッチします。

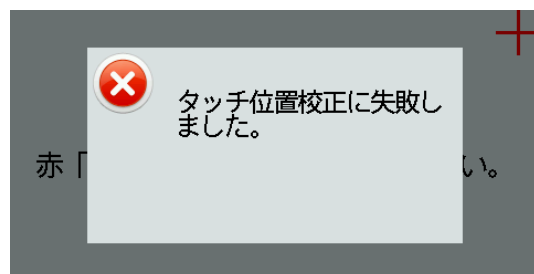
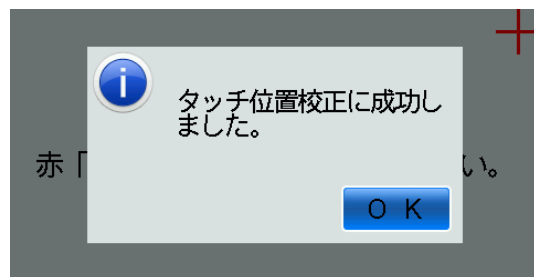
校正結果をチェックします。
赤「十」の交差点にタッチして下さい。



- ④正常に校正が行われると、「タッチ位置校正に成功しました」と表示されます。

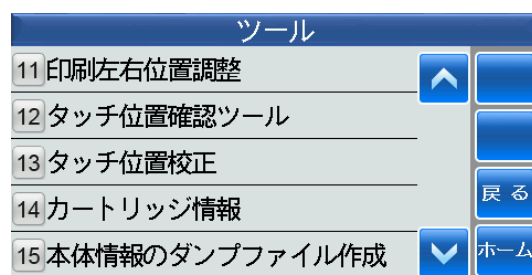
OK にタッチすると、ツール画面に戻ります。

もし、正常に校正が行われない場合は、「タッチ位置校正に失敗しました」と表示されますので、再度、項目①に戻って繰り返して作業を行ってください。



1.4 カートリッジ情報

- 装着されているインクカートリッジの諸元を表示します。
- ホーム画面⇒ツール⇒次画面のカートリッジ情報にタッチします。

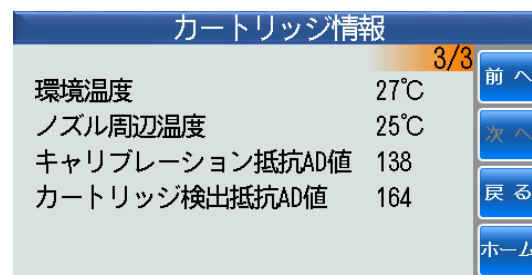
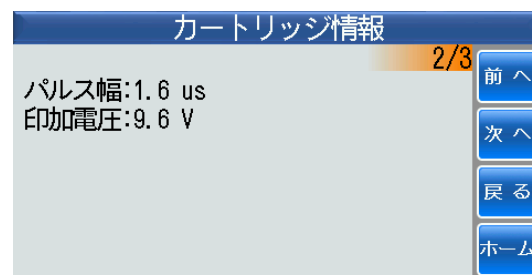
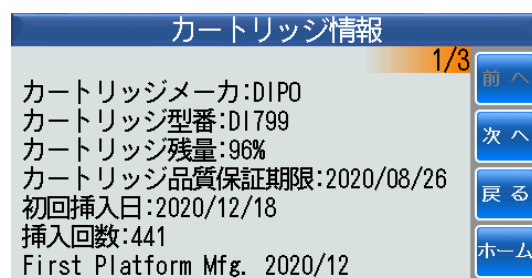


- ①カートリッジ情報にタッチすると、カートリッジ情報画面が表示されます。

次へにタッチすると、次画面に移動します。

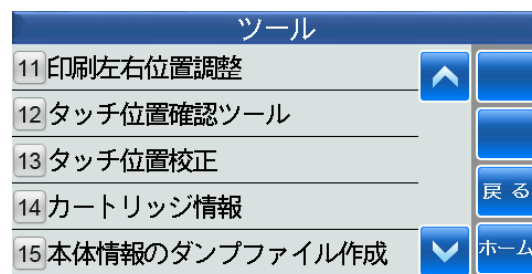
次へにタッチすると、次画面に移動します。

確認後、戻るにタッチすると、ツール画面に戻ります。



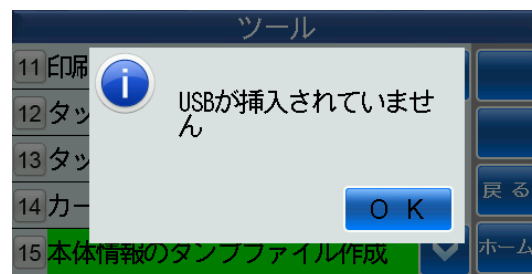
1.5 本体情報のダンプファイル作成

- 本体内部に保存されているデータを USB メモリに抽出します。万が一、本体にトラブルが生じた時に、問題の解析に役立つ場合があります。通常は、使用しません。
- USB メモリを挿入します。
- ホーム画面⇒ツール⇒次画面の本体情報のダンプファイル作成にタッチします。



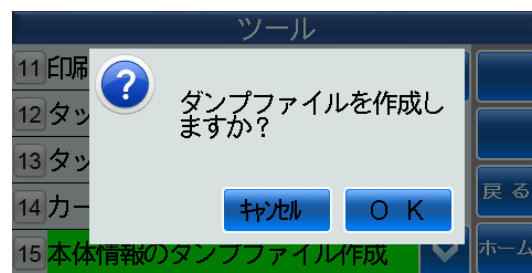
- ①USB メモリが挿入されていない状態で本体情報のダンプファイル作成にタッチすると、エラーメッセージ画面が表示されます。

USB メモリを挿入して **OK** にタッチしてください。すると、ツール画面に戻ります。



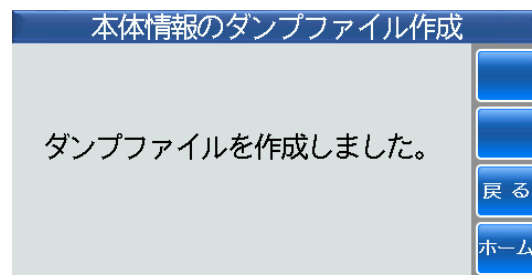
- ②もう一度、本体情報のダンプファイル作成にタッチすると作成画面が表示されます。

OK にタッチします。



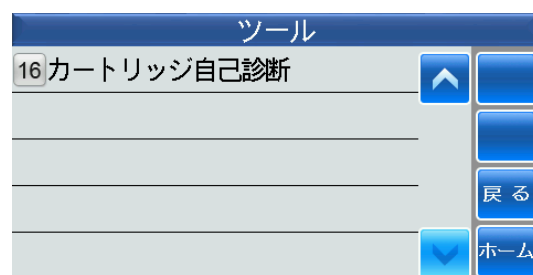
- ③正常に、データがUSB メモリに抽出されました。

戻る にタッチすると、ツール画面に戻ります。



16 カートリッジ自己診断

- インクカートリッジが正常に動作しているかをチェックします。
- ホーム画面⇒ツール⇒次画面のカートリッジ自己診断にタッチします。



- ①カートリッジ自己診断にタッチします。

※未使用のノズルは、灰色に表示されています。

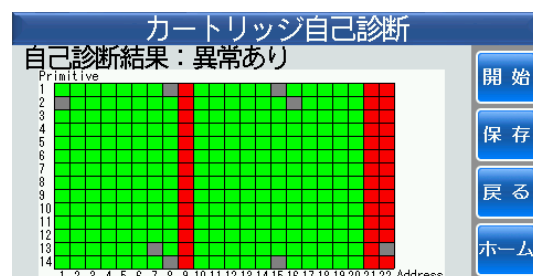
開始にタッチします。



- ②自己診断結果画面（全ノズルをマトリックス状にしたもの）が表示されます。

赤色は、断線等をしたノズルを表示しています。
緑色は、正常なノズルを表示しています。

保存にタッチします。



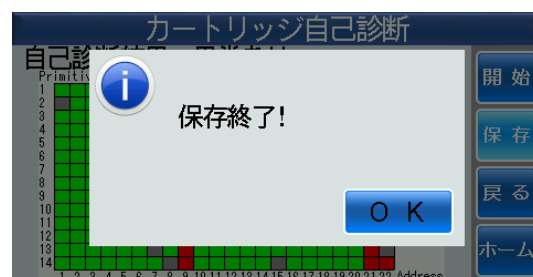
- ③USB メモリが挿入されていない状態でタッチすると、エラーメッセージ画面が表示されます。

USB メモリを挿入して **OK** にタッチします。すると、項目2の自己診断結果画面に戻りますので、再度、**保存**にタッチします。



- ④正常に自己診断結果がUSB メモリに保存されました。

OK にタッチすると、項目2の自己診断結果画面に戻ります。



第2章 設定

1 基本設定

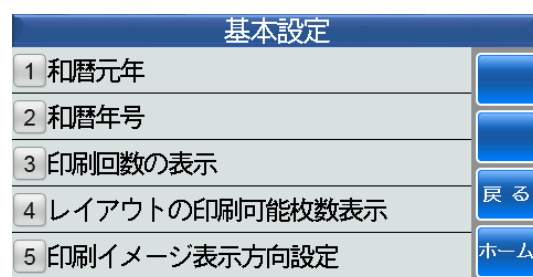
■ホーム画面⇒設定⇒基本設定にタッチします。



(1) 和暦元年

■和暦元年を西暦表示に設定します。

①和暦元年にタッチします。



②数字または  にタッチして西暦を入力します。



③ **決定** にタッチすると保存されて、①の基本設定画面に戻ります。

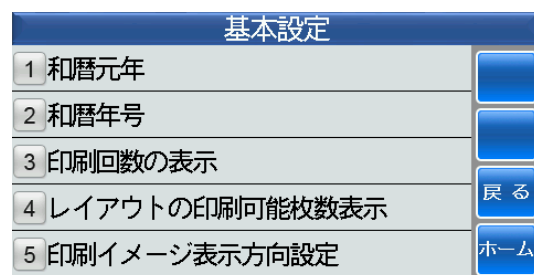
(2) 和暦年号

■元号を設定します。

①和暦年号にタッチします。

②「カタカナ」キーにタッチして「レリ」と入力し、
前候補 または 次候補 にタッチして「令和」に変換します。

確定 に2回タッチすると保存されて、①の基本設定画面に戻ります。



(3) 印刷回数の表示

■発行回数をトータルで表示するかレイアウト毎に表示するかを設定をします。

①発行回数の表示にタッチします。

基本設定	
1 和暦元年	戻る
2 和暦年号	戻る
3 印刷回数の表示	戻る
4 レイアウトの印刷可能枚数表示	戻る
5 印刷イメージ表示方向設定	ホーム

②いずれかに☒します。

※レイアウトごとの回数に設定しても、トータル回数のカウントも行います。

発行回数の表示	
☒ トータルの回数	戻る
☐ レイアウトごとの回数	戻る
決定	
ホーム	

③ **決定** にタッチすると保存されて、①の基本設定画面に戻ります。

(4) レイアウトの印刷可能枚数表示

■印刷可能な枚数をステータスバーに表示するかを設定をします。

①レイアウトの印刷可能枚数表示にタッチします。

基本設定	
1 和暦元年	戻る
2 和暦年号	戻る
3 印刷回数の表示	戻る
4 レイアウトの印刷可能枚数表示	戻る
5 印刷イメージ表示方向設定	ホーム

②いずれかに☒します。

※デフォルト：ステータスバーに表示しない。

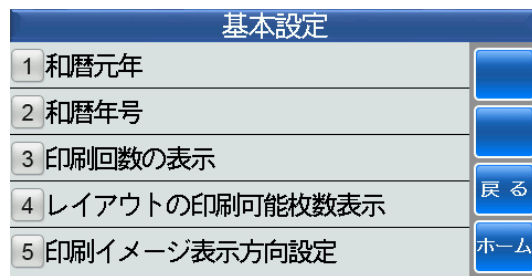
レイアウトの印刷可能枚数表示	
☒ ステータスバーに表示しない	戻る
☐ ステータスバーに表示	戻る
決定	
ホーム	

③ **決定** にタッチすると保存されて、①の基本設定画面に戻ります。

(5) 印刷イメージ表示方向設定

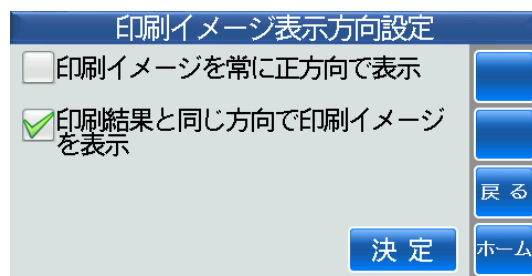
■タッチパネル上に印刷イメージを表示させる方向の設定をします。

①印刷イメージ表示方向設定にタッチします。



②印刷イメージを常に正方向で表示にすると、タッチパネル上では、印刷方向に係わらず常に正視方向に表示します。

印刷結果と同じ方向で印刷イメージを表示にすると、タッチパネル上では、印刷結果と同じ方向に表示します。



③ **決定** にタッチすると保存されて、①の基本設定画面に戻ります。

2 印刷設定

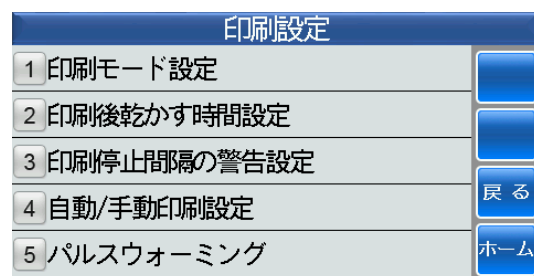
■ホーム画面⇒設定⇒印刷設定にタッチします。



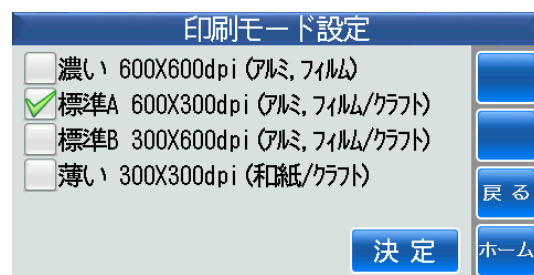
(1) 印刷モード設定

■印刷対象物の材質によって印刷モードの設定をします。

①印刷モード設定にタッチします。



②印刷したい解像度にします。

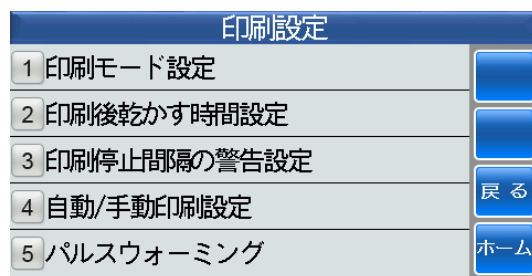


③ **決定** にタッチすると保存されて、①の印刷設定画面に戻ります。

(2) 印刷後乾かす時間設定

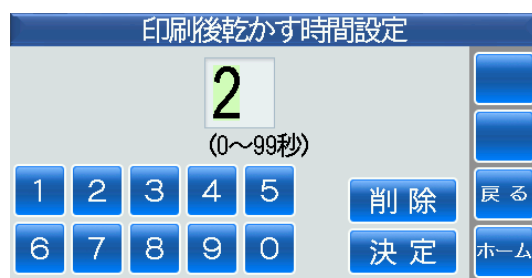
■印刷後に印刷対象物を取り出すまでの時間を設定します。

①印刷後乾かす時間設定にタッチします。



②数字にタッチして印刷後に印刷対象物を取り出すまでの時間を入力します。

入力データを削除する場合は、**削除** にタッチします。

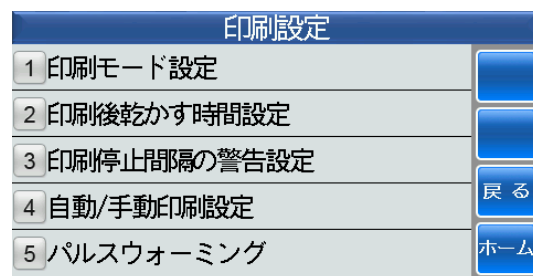


③ **決定** にタッチすると保存されて、①の印刷設定画面に戻ります。

(3) 印刷停止間隔の警告設定

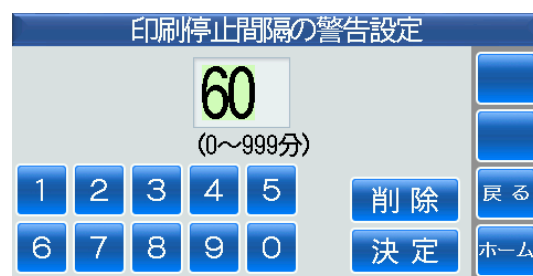
■印刷後に次の印刷をするまでに時間を要する場合、印刷を停止するように警告を表示させるインターバル時間を設定します。

①印刷停止間隔の警告設定にタッチします。



②数字にタッチして印刷停止間隔の警告を表示させる時間を入力します。

入力データを削除する場合は、**削除** にタッチします。

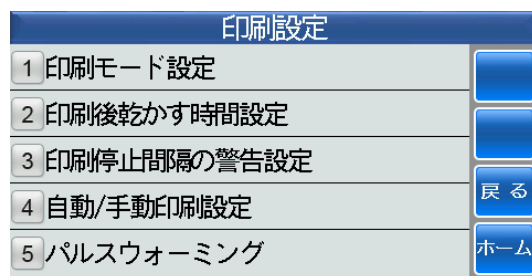


③ **決定** にタッチすると保存されて、①の印刷設定画面に戻ります。

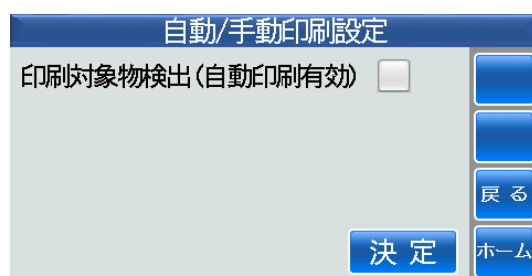
(4) 自動/手動印刷設定

■印刷対象物の長手方向の位置決めを検出してから印刷開始するまでの時間を設定します。

①自動/手動印刷設定にタッチします。

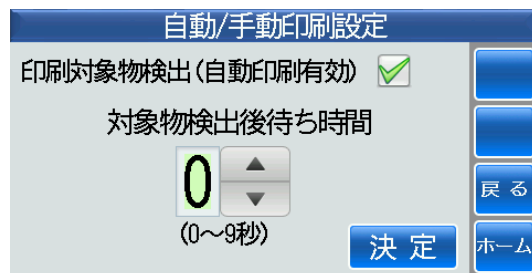


②印刷対象物の位置決めを検出してから印刷開始までの時間設定をする場合は、を入れます。



③  にタッチして印刷対象物の位置決めを検出してから印刷開始するまでの時間を入力します。

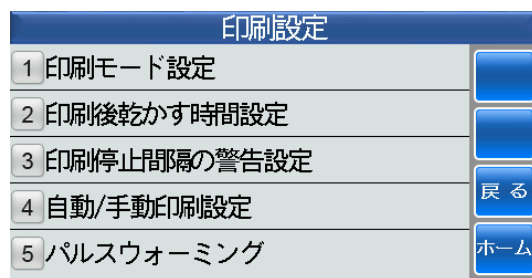
決定 にタッチすると保存されて、①の印刷設定画面に戻ります。



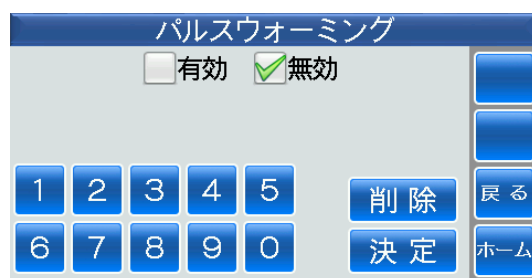
(5) パルスウォーミング

■印刷開始前にインクを最適温度に設定します。

①パルスウォーミングにタッチします。



②デフォルトは、無効に設定されています。

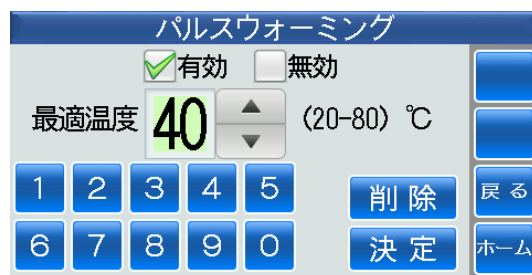


有効に☒すると、パルスウォーミングが有効になります。

次に、最適温度を設定します。

デフォルトは、40℃に設定されています。

変更する場合は、にタッチします。



設定値を削除する場合は、**削除**にタッチします。

決定にタッチすると設定値が保存されて、①の印刷設定画面に戻ります。

3 デバイス設定

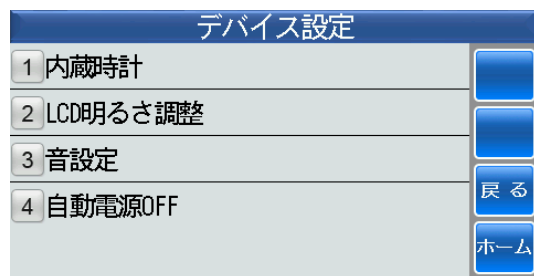
■ホーム画面⇒設定⇒デバイス設定にタッチします。



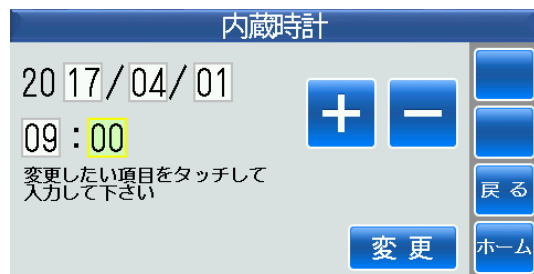
(1) 内蔵時計

■内蔵時計を現時間に設定します。

①内蔵時計にタッチします。



②調整したい年月日にタッチして **+** **-** で時間合わせをします。

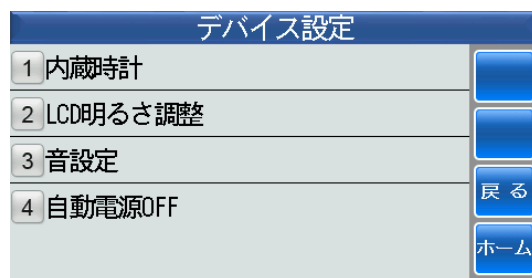


③ **変更** にタッチすると保存されて、①のデバイス設定画面に戻ります。

(2) LCD 明るさ調整

■タッチパネルの明るさを調整します。

①LCD 明るさ調整にタッチします。



②< または > にタッチしてタッチパネルの明るさを調整します。



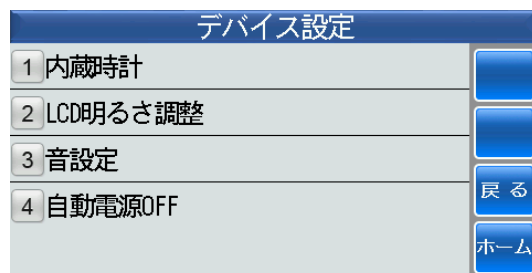
③ 決定 にタッチすると保存されて、①のデバイス設定画面に戻ります。

(3) 音設定

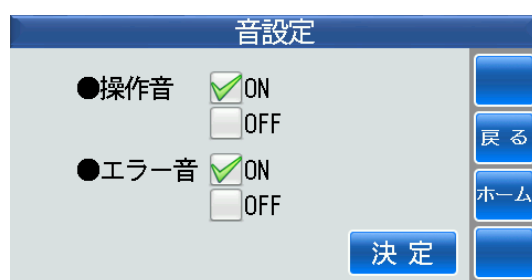
i) 操作音

■操作音を出すかどうかの設定をします。

①音設定にタッチします。



②操作音の ON に ☒ すると操作音が出ます。

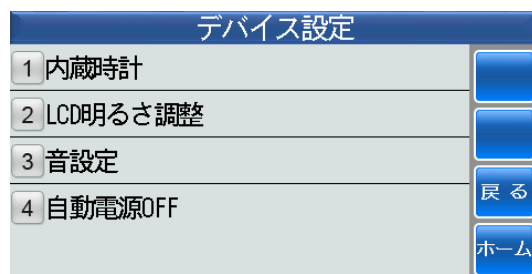


③ **決定** にタッチすると保存されて、①のデバイス設定画面に戻ります。

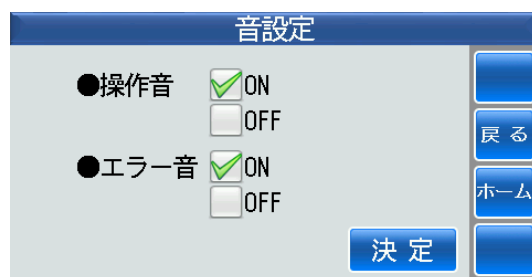
ii) エラー音

■エラー音を出すかどうかの設定をします。

①音設定にタッチします。



②エラー音の ON に ☒ するとエラー音が出ます。

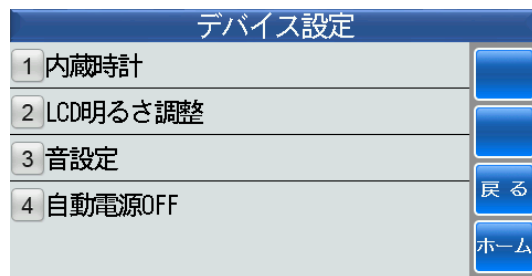


③ **決定** にタッチすると保存されて、①のデバイス設定画面に戻ります。

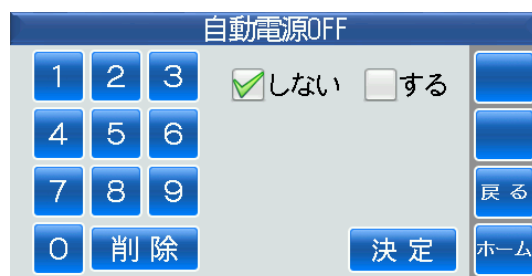
(4) 自動電源 OFF

■自動で電源 OFF になるまでの時間を設定します。

①自動電源 OFF にタッチします。



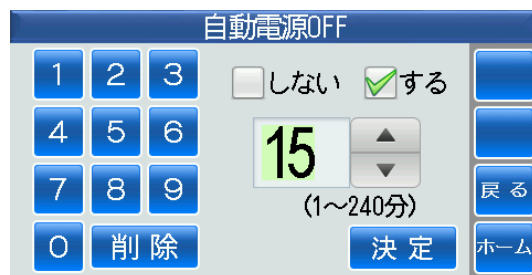
②デフォルトは、自動電源 OFF を設定しないにが入っています。



設定をする場合は、するにを入れ、数字またはにタッチして時間を入力します。

入力データを削除する場合は、**削除** にタッチします。

③ **決定** にタッチすると保存されて、①のデバイス設定画面に戻ります。



4 設定値処理

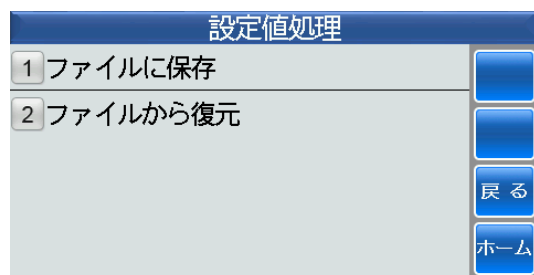
- 設定値をファイルに保存するかファイルから復元するかの設定をします。
- ホーム画面⇒設定⇒設定値処理にタッチします。



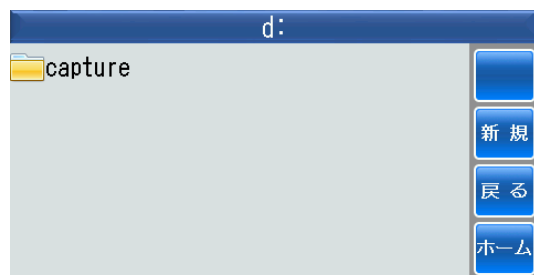
(1) ファイルに保存

- プリンターの設定値をUSBメモリに保存します。
- USBメモリを挿入してください。

①ファイルに保存にタッチします。



②新規ファイルに保存する場合は、新規にタッチします。



③数字にタッチして英字モードに変換します。



英字モードに変換します。

④たとえば、[tmp_] と入力します。

 にタッチすると確定します。

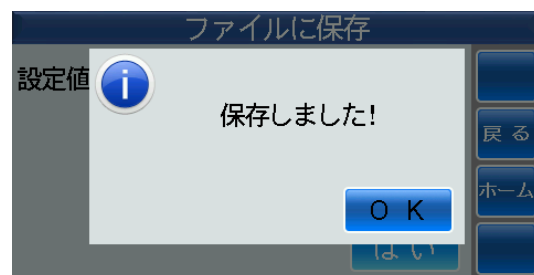
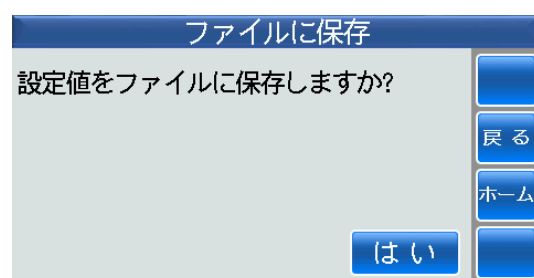
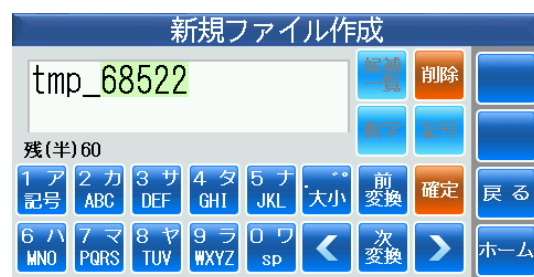
⑤英字にタッチして数字モードに変換し、[68522] と入力します。

 にタッチすると確定します。
もう一度、 にタッチします。

⑥  にタッチします。

⑦  にタッチします。

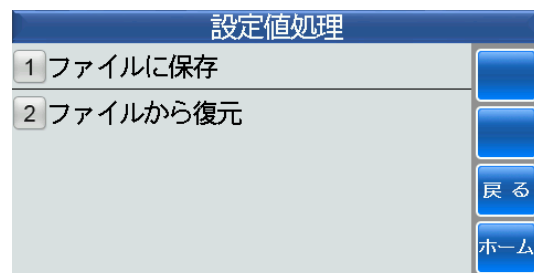
⑧保存されて、②の画面に戻ります。



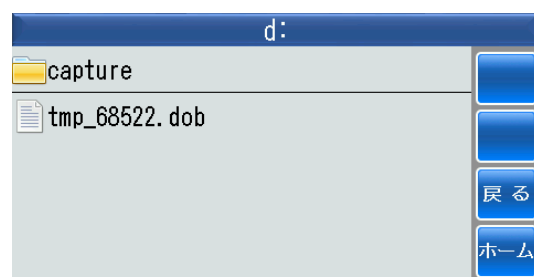
(2) ファイルから復元

- USBメモリの設定値をプリンターに復元します。
- USBメモリを挿入してください。

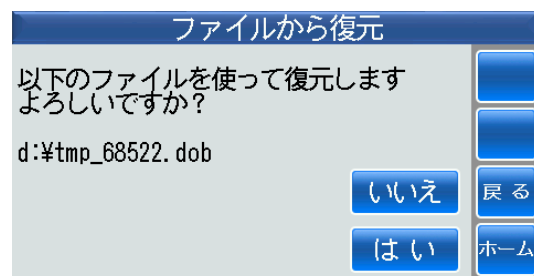
① ファイルに保存にタッチします。



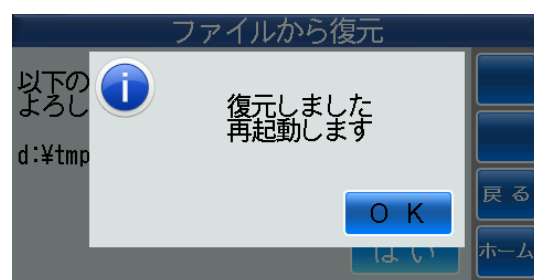
② 設定値が保存されたファイルにタッチします。



③ 復元する場合は、**はい** にタッチします。



④ 正常に復元されました。



⑤ **OK** にタッチします。
再起動してホーム画面を表示します。

5 その他

- ホーム画面⇒設定⇒その他にタッチします。
 (通常は、使用しません。)



- ①パスワード入力画面が表示されます。

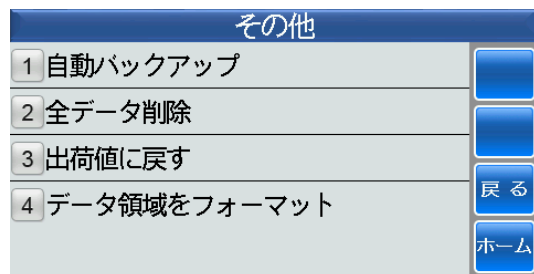
デフォルトとして設定されたパスワード [3913]
 を数字にタッチして入力します。

入力データを削除する場合は、**削除** にタッチします。



- ② **決定** にタッチします。

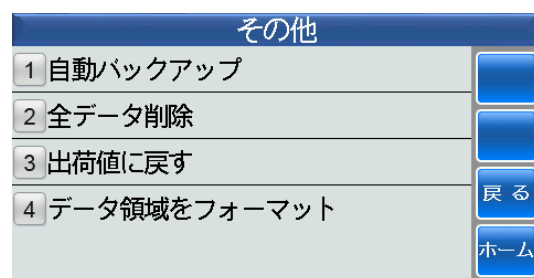
- ③その他の画面が表示されます。



(1) 自動バックアップ

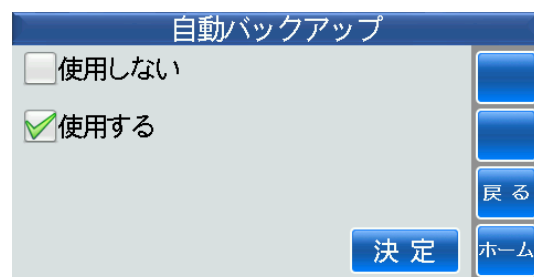
■自動でデータをバックアップするかの設定をします。

①自動バックアップにタッチします。



②自動バックアップを使用するまたは使用しないに ☒ を入れます。

決定 にタッチします。



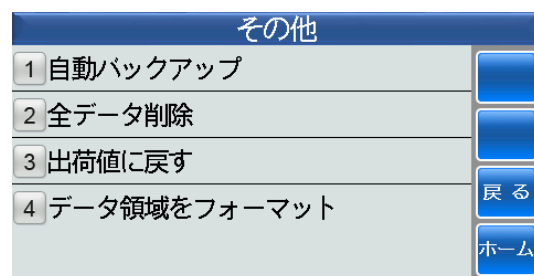
設定されて、①のその他の画面に戻ります。

(2) 全データ削除

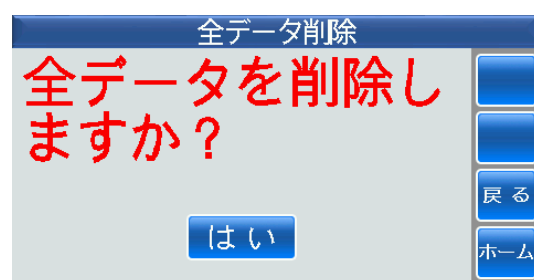
■全データを削除するかの設定をします。

※全データが削除されますので、ご注意ください。

①全データ削除にタッチします。

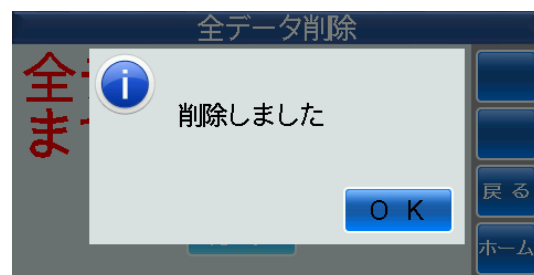


②全データを削除する場合は、**はい** にタッチします。



③正常に削除されました。

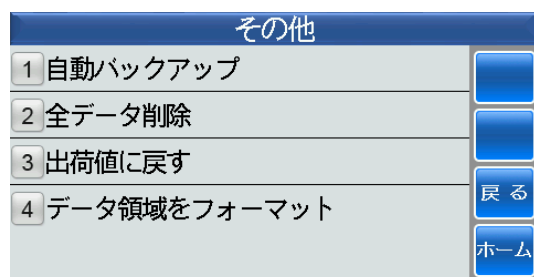
OK にタッチすると、①のその他の画面に戻ります。



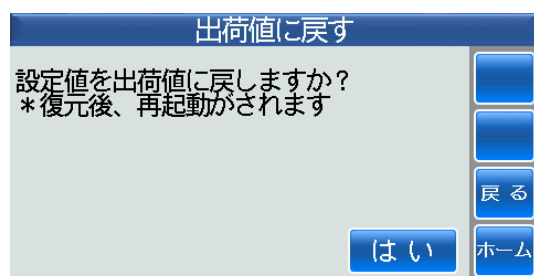
(3) 出荷値に戻す

■設定値を工場出荷値に戻すかの設定をします。

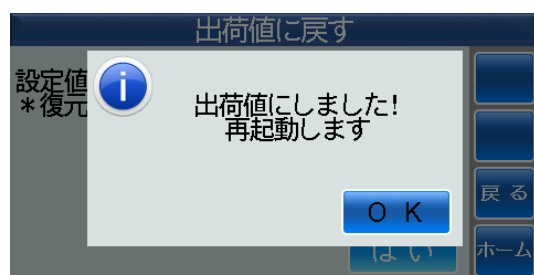
①出荷値に戻すにタッチします。



②出荷値に戻す場合は、**はい**にタッチします。



③ **OK**にタッチします。

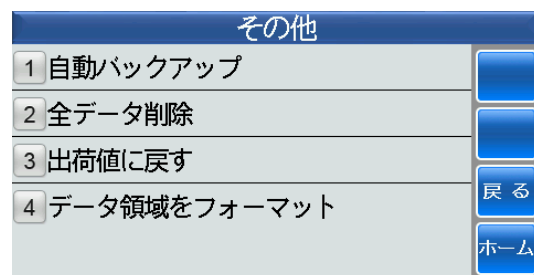


再起動してホーム画面が表示されます。

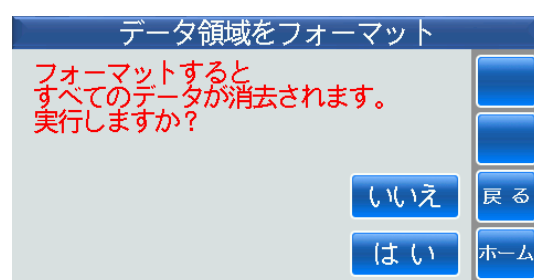
(4) データ領域をフォーマット

■データ領域をフォーマットするかの設定をします。
 ※全データが消去されますので、ご注意ください。

①データ領域をフォーマットにタッチします。



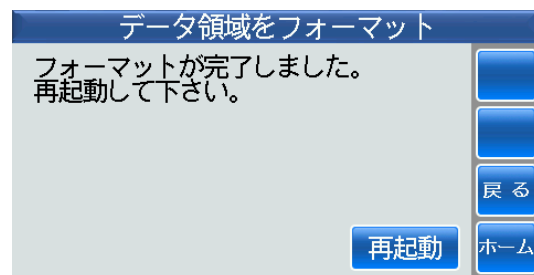
②フォーマットする場合は、**はい** にタッチします。



③正常にフォーマットが完了しました。

再起動 にタッチします。

再起動してホーム画面が表示されます。



第3章 印刷内容

■DiPO Partner で作成された印刷データをプリンターで印刷します。

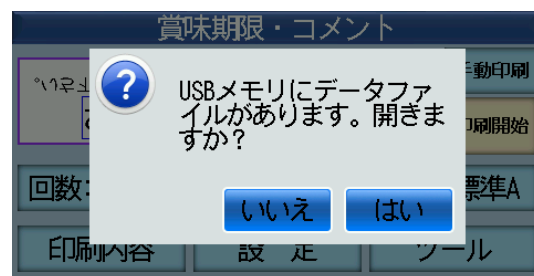
1 印刷データの読み込み

- 最初に USB メモリに保存された印刷データをプリンターに読み込みます。
- 印刷データが保存された USB メモリを本体に挿入してください。
- ホーム画面⇒ツール⇒印刷データの読込・保存からでも同様な操作ができます。



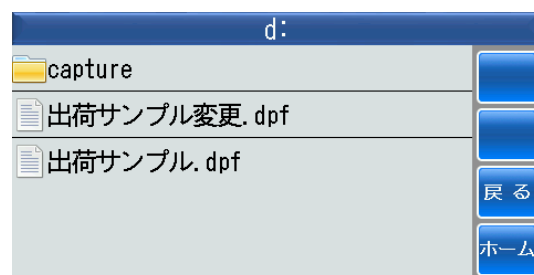
①USB メモリを挿入します。

はい にタッチしてファイルを開きます。

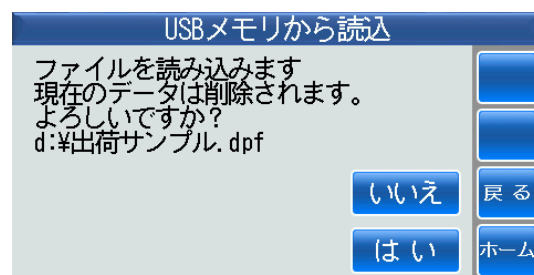


②読み込みしたいファイルにタッチします。

※ホーム画面⇒ツール⇒印刷データの読込・保存の USB メモリから読込にタッチしても同様な操作ができます。

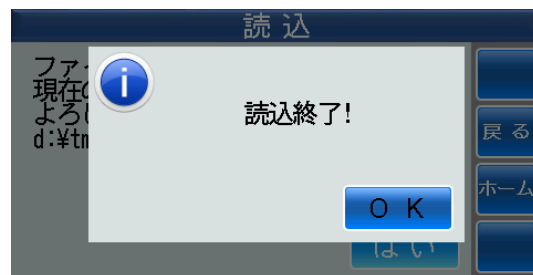


③読み込む場合は、**はい** にタッチします。



④正常に読み込みされました。

OK にタッチすると、①の印刷データの読込・保存画面に戻ります。



2 手動印刷/自動印刷

■プリンターで印刷します。

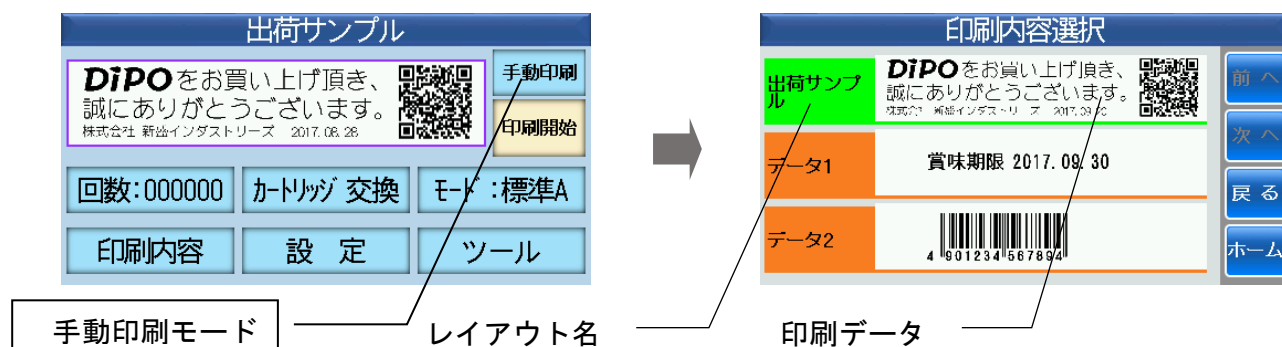
印刷前に印刷対象物の幅方向と長手方向の位置決めを行ってください。

インクカートリッジを装着してください。

※詳しくは、付属の本体編 取扱説明書をご参照ください。

■ホーム画面⇒印刷内容⇒印刷内容選択で印刷したい印刷データにタッチします。

■デフォルトは、手動印刷モードに設定されています。



※ここでは、3つのレイアウトが作成されています。

(1) 手動印刷

■手動モードで印刷します。

①印刷対象物を位置決めしてください。

② **印字開始** にタッチすると印刷を開始します。

印刷された印刷対象物を取り出して、次の印刷対象物を位置決めして **印字開始** にタッチすると同様に印刷します。



(2) 自動印刷

■自動モードで印刷します。

① **手動印字** にタッチします。



② **自動印字** に切り替わります。



③印刷対象物を位置決めすると自動的に印刷します。

印刷された印刷対象物を取り出して、次の印刷対象物を挿入して位置決めされると自動的に印刷します。

※印刷対象物を挿入する時は、本体を開放しないでください。

※自動印刷モードの時に、本体を全開させて印刷対象物の位置決め調整を行わないでください。
指や手が印刷対象物センサーで検出されてインクが吐出される場合があります。
必ず、手動印刷モードまたは電源をオフにしてから行ってください。

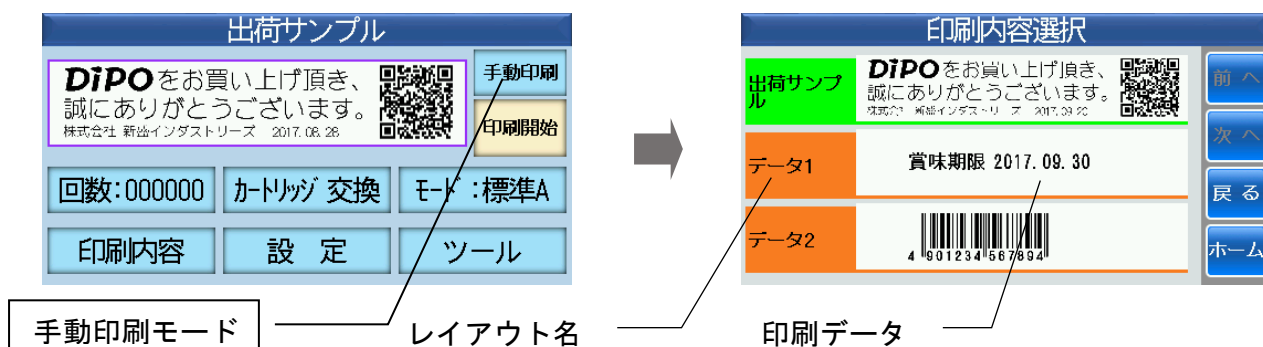
3 印刷データの一時変更

■パソコン上の DiPO Partner でレイアウトされた項目において、その項目のプロパティで手動一時変更に☒を入れると、その項目をプリンター上で変更することができます。

ただし、漢字項目は、変更することができません。

※DiPO Partner での手動一時変更の設定方法は、付属の DiPO Partner 取扱説明書のプロパティの項目をご参照ください。

■ホーム画面⇒印刷内容にタッチします。



※ここでは、3つのレイアウトが作成されています。

■漢字項目の一時変更ができませんので、印刷内容選択でデータ1を選択した場合について、印刷データの一時変更の説明をします。

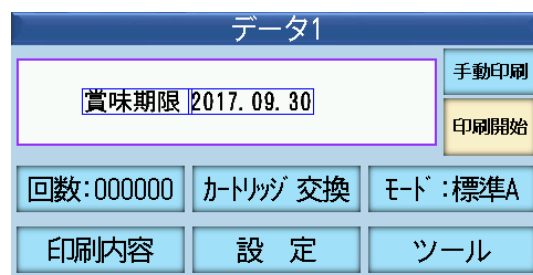
①データ1にタッチします。



②項目枠が青くなっている項目を一時変更することができます。

ここでは、賞味期限と年月日を一時変更することができます。

たとえば、賞味期限にタッチします。



- ③賞味期限がコード3に関連付けられて、テーブルから取得されています。

たとえば、にタッチして2を選択します。

※賞味期限が単に漢字項目である場合は、一時変更をすることができません。

- ④製造日が表示されました。

※日付名は、テーブルの作成方法によって変わります。

決定にタッチします。

設定されて、②のデータ1画面に戻り、賞味期限が製造日に変わりました。

同様に、年月日の項目にタッチします。

- ⑤補正日を変更する場合は、数字にタッチします。

- ⑥たとえば、数字にタッチして補正日を30と入力します。

入力データを削除する場合は、**削除**にタッチします。

決定にタッチします。

設定されて、④のデータ1画面に戻り、年月日が変わりました。

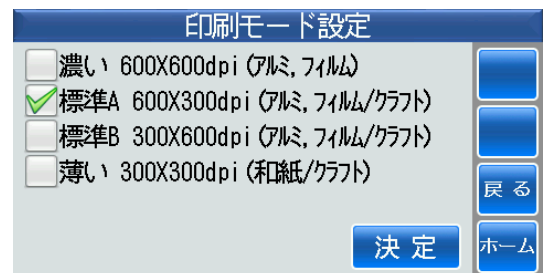
第4章 モード：標準A

- 印刷対象物の材質によって印刷したい解像度を設定します。
- ホーム画面で設定⇒2.印刷設定⇒①印刷モード設定でも同様に操作できます。

①ホーム画面でモード：標準Aにタッチします。



②印刷したい解像度にします。

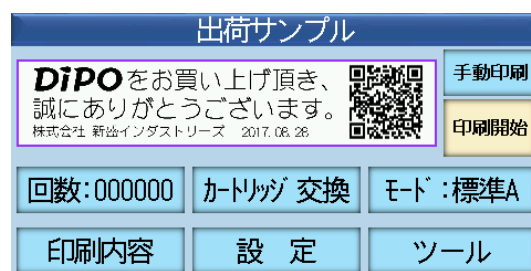


③ **決定** にタッチすると保存されてホーム画面に戻ります。

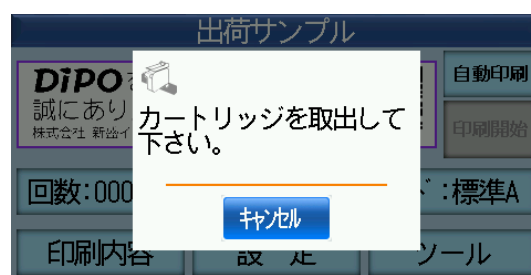
第5章 カートリッジ交換

■インクカートリッジが交換位置まで移動し、カートリッジを交換します。

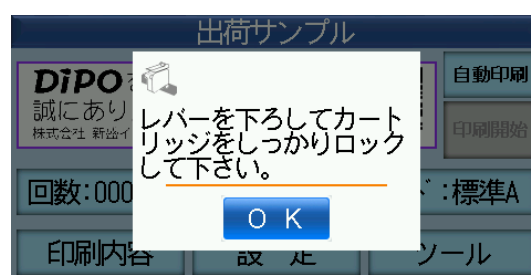
①ホーム画面でカートリッジ交換にタッチします。



②レバーを奥の方まで倒してから古いカートリッジを取り出して新しいカートリッジを装着します。



③正常に装着されるとメッセージが表示されますので、レバーが水平に下ろされてしっかりロックされている事を確認してから **OK** にタッチします。



④インクカートリッジが印刷開始位置に戻りホーム画面が表示されます。

第6章 回数

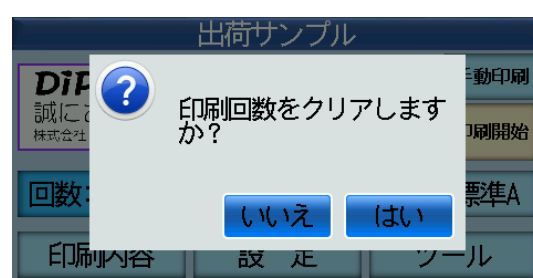
■自動印刷と手動印刷を合計した印刷回数をクリアします。

①ホーム画面で回数にタッチします。



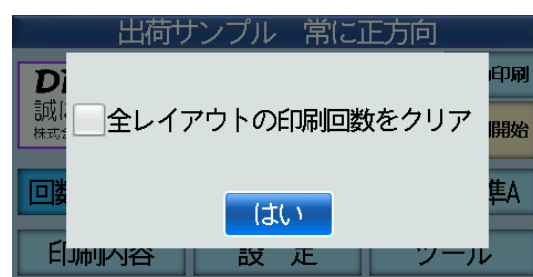
② はい にタッチします。

ここで、第2章の設定→基本設定→(3)印刷回数の表示で「トータルの回数」に設定してある場合は、トータルの印刷回数をクリアして次の③画面に戻ります。

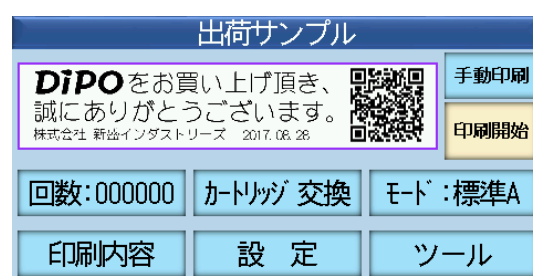


一方、第2章の設定→基本設定→(3)印刷回数の表示で「レイアウトごとの回数」に設定してある場合は、さらに右の画面が表示されます。

「全レイアウトの印刷回数をクリア」に ☒ して、**はい** にタッチすると、全レイアウトの印刷回数もクリアします。



③印刷回数がクリアされました。





Shinsei

株式会社新盛インダストリーズ

本 社 〒114-0004 東京都北区堀船4-12-15

TEL 03-3913-0131 FAX 03-3913-9607

営業所 〒540-0011 大阪市中央区農人橋2-1-30 谷町八木ビル5階

TEL 06-6765-4381 FAX 06-6765-4382

U R L <https://www.shinseiind.co.jp>